



マルチシンク液晶ディスプレイ
MultiSync P212
 MODEL：P212-BK

- このセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。
 特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前の**前に必ず読んで**正しくお使いください。
 ■ 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
 ■ セットアップマニュアルは「保証書」とともに大切に保管してください。
- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
 (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
 (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお欠けの点がありましたらご連絡ください。
 (4) 本書に記載されている画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
 (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項および(4)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

PCリサイクルマーク お申込みのご案内

この章は、弊社ディスプレイをお買い上げいただきありがとうございます。
 資源有効利用促進法に基づき、本商品をご購入いただいた際のみなさまには、お申込みにより無償PCリサイクルマークのシールをお送りします。

個人のお客様の場合：
 PCリサイクルマークのお申し込みは、リサイクル窓口ホームページから受け付けます。
 詳しくはWebサイト(https://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html)をご参照ください。
 支給されたPCリサイクルマークのシールをディスプレイ本体の見やすい場所に貼り付けてください。

注意： 1度剥がしてしまうと2度貼りができないため回数となりますので、貼り付け時には充分に留意願います。また、PCリサイクルマークの再発行は有償となります。紛失、汚損等にはご注意ください。

法人のお客様の場合：
 PCリサイクルマークのお申込みは、おこなえません。
 また、PCリサイクルマークが添付された商品を排出する場合でも産業廃棄物の扱いとなります。

液晶ディスプレイの上手な使い方

	<p>日本国内専用です この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。 This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries. For use in Japan only</p>	
	<p>キャビネットのお手入れ お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。溶剤をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用できる溶剤をご確認ください。</p>	
	<p>液晶パネルのお手入れ パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押ししたりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は指紋などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。</p>	
	<p>上手な見方 明るすぎる状態は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>	

部品寿命による影響 保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。
--

重要なお知らせ

残像について
 残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
 「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

1 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど 人身事故の原因 となります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり 周囲の家財に損害 をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。

	△記号は 注意(警告を含む) をうながすことを表しています。図の中に 具体的な注意内容(左図の場合は感電注意) が描かれています。
	○記号は してはいけないこと を表しています。図の中に 具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●記号は しなければならないこと を表しています。図の中に 具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く) が描かれています。

警告

	故障したときは電源プラグを抜く ディスプレイから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、ディスプレイを蒸したりキャビネットを破損した場合は、ディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけでなく、視力障害の原因になります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。		地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなう 転倒・落下防止器具を取り付けられる壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
	ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は使わない そのまま使用すると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因となります。		裏ぶたを外さない、修理・改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。修理の場合は販売店へお問い合わせください。
	電源コードを傷つけない 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・添付されているもの以外の電源コードは使用しない ・コードの上に重い物をのせない ・コードをディスプレイの下敷きしない ・コードの上を動物などが歩かない ・コードを傷つけない、加工しない ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ・コードを加熱しない 電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)販売店に交換をご依頼ください。		熱気筒のそば 熱気筒のそばにコードを近づけると、コードが熱くなり、火災・感電の原因となります。
	傾斜面や不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。		キャビネットを破損したときは使わない 火災・感電の原因となります。

2 ご使用の前に

付属品の確認 お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

ユーティリティディスク x2 (高負管理ソフトウェア) (電源管理ソフトウェア) Power Save Management Software)	信号ケーブル DVI-D—DVI-D ケーブル (デジタル接続用)	DisplayPort ケーブル
電源コード	USB ケーブル	ネジ 4本
		セットアップマニュアル
		保証書

付属品以外は非添付です。
 付属品以外のケーブルで接続する場合は市販品を別途ご購入ください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 **VCCI—B**

注意
 添付のケーブルを使用してください。DVI、ミニD-Sub 15ピンについてはコア付きケーブルを使用してください。HDMI、DisplayPort、USBはシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。
 本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。TCOに認証された当社の液晶ディスプレイの一覧表と該当するTCO Certification (英語のみ)は、当社ホームページ https://jpn.nec.com/products/ds/display/tco/index.html をご覧ください。
 JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有状況により、次の 2 種類の表示マークがあります。
 ・含有マーク：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
 ・グリーンマーク：同化学物質が含有率基準値以下 (但し除外項目あり) である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク
 本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。製品の詳細は、https://www.nec-display.com/environment/j-moss.html をご覧ください。

	風呂場や水のかかるところに置かない 水などがディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。		異物をいれない 火災・感電の原因となります。特にお子さまにご注意ください。		アースリード線挿入・接触しない 電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。
	正しい電源電圧を使用する 日本国内専用です。指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。一般の標準品のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V 以外で使用しないでください。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。		ディスプレイの清掃時に気を付けること 付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。		ポリ袋で遊ばない 本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。特にお子さまにご注意ください。
	雷が降り出したら、電源コードなどに触れない 雷が降り出したら電源コードなどに触れないでください。感電の原因となります。				

注意

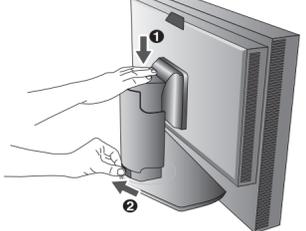
	設置するとき気を付けること 移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。布などで通風口をふさいだり、以下の場所に設置したりしないでください。高温が懸かっている場所、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・狭い場所 ・直射日光や熱気筒のそば ・振動の多い所 ・湿気、ほこり、濃煙、蒸気の当たる所 ・屋外 ・湿度・温度が急激に変化し結露がしやすい環境 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。取扱説明書で示している設置以外での設置はおこなわないでください。	
	ディスプレイや置き台には乗らない ディスプレイや置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となる場合があります。	
	液晶パネルに衝撃を加えない 破損してけがや故障の原因となる場合があります。	

3 接続

設置について
 本機を使用する場所に設置してください。

スタンドのロックを解除する
 スタンドを一番下まで押し下げた状態で、スタンド下部のロックボタンを後ろから見て左方向に動かします。

お知らせ
 開梱したとき、スタンドは所定の位置でロックされています。スタンドを一番下まで押し下げた状態で、スタンド下部のロックボタンを後ろから見て左側に動かすことでロックが解除されます。



接続する

- お願い**
- ・接続の前にスタンドのロックを外し、本体を一番上まで上げてください。
 - ・DVI-D—DVI-D ケーブルおよび DisplayPort ケーブルは付属品をご使用ください。
 - ・信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
 - ・取り扱いはLCDパネル表面に強い力がからないようにしてください。

1 信号ケーブルを接続する
 信号ケーブルおよび変換アダプター(市販)は、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

2 USB ケーブルを接続する
1 USBケーブルのUSBポート(タイプB)を本機のUSBアップストリームポートにしっかり差し込む

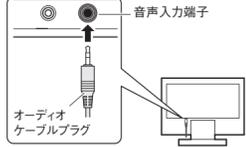
2 USBケーブルのUSBポート(タイプA)をコンピューターのダウンストリームポートに差し込む

お願い
 USBケーブルのコネクターの形状および向きをよく確かめてから接続してください。
注意
 USBケーブルは束ねて(丸めて)固定せずに使用してください。ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。

	液晶を口にしない 液晶パネルが破損し、液晶がもれ出した場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。中毒を起こすおそれがあります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。	
	電源コードは注意して取り扱う 電源コードが破損すると、火災・感電の原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ・電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない ・電源プラグを奥までさしこむ ・電源コードの抜き差しはプラグ部分を持っておこなう ・電源コードが縁側に掛けるのを防止する ・お手入れの際は電源プラグを抜く ・電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く ・長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く ・アース線を接続する 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき2芯電源プラグです。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。	
	スタンドに指をはさまない スタンド調節時または市販のアーム取り付け時に指や手をはさむとけがの原因となることがあります。	
	スタンドまたは市販のアームを取り付ける場合 市販のアームを取り付ける際は本機を支えるのに十分なものをご使用ください。アームまたはスタンドを取り付ける際は指定のネジを使用し、しっかりと締めてください。液晶ディスプレイの転倒または落下の原因となる場合があります。	
	電源コードおよびUSBケーブルは束ねて(丸めて)固定せずに使用する ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。	
	ヘッドホンを装着したまま接続しない 音によって耳を傷める原因となる場合があります。	
	推奨の溶剤でお手入れする ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れたり、塗装がはげる原因となる場合があります。(化学そうじさんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。) また、ガラスやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れるなどの原因となる場合があります。 パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合は水、エタノール、イソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等がディスプレイ内部に入ったり表示面以外ディスプレイ表面に付着すると、商品に被害するおそれがありますのでご注意ください。	
	1年に一度は内部掃除をする 内部ほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となる場合があります。内部掃除は販売店にご依頼ください。	

3 オーディオケーブルを接続する

(ミニD-Sub 15ピン/DVI-Dピン入力時)
 オーディオケーブル(市販)のプラグを音声入力端子に奥までしっかり差し込みます。
 (DisplayPort/HDMI入力時)
 DisplayPort ケーブルまたはHDMIケーブル(市販)で接続した場合、本接続は不要です。



お願い
 オーディオケーブルは3.5φステレオミニプラグをご準備ください。

お知らせ
 ・コンピューターによってはDisplayPortまたはHDMIから音声を出力する場合、コンピューター本体の設定変更が必要となる場合があります。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。
 ・オーディオケーブルはステレオミニプラグを使用してください。
 ・接続するオーディオ機器やコンピューターの音声出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。
 ・抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくなりなかったり、音が出ない場合があります。

4 電源を接続する

お知らせ
 画面を上方向に傾けたほうがケーブル類の接続が簡単におこなえます。

お願い

- ・コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
- ・電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。
- ・スタンドを上げた状態でケーブル類をスタンドのフックにかけてください。設置後にスタンドを上げた際に必要となるケーブルの長さが確保されます。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。

お願い
 本機のチルト角度を変えても、電源コードが外れないことを確認してください。

2 ケーブルカバーを一番上まで上げ、電源コード、信号ケーブル、USBケーブル、オーディオケーブル(市販)をスタンドのフックに掛ける

※ケーブルマネージメントをご使用にならない場合はこれらの作業は不要です。

お願い

- ・ケーブル類はスタンド左右のフックに確実にに入れてください。また左右のフックに均等になるようにかけてください。
- ・画面を前後に動かしたとき、ケーブル類に十分な余裕があることを確認してください。ケーブル類のたわみや不十分な場合は、ケーブルの断線などが発生する原因となります。

3 ケーブルカバーを下に下げる(ケーブルマネージメントをご使用の方へ)

4 アースリード線を接地(アース接続)する

